

エスディージーズ
にしくSDGsチャレンジ

だつたんそ
脱炭素の「いいね！」をシェアしよう



おうぼ
▲応募フォームはこちらから



令和6年は西区制80周年

温故知新 歴史をつむいで未来をつくろう

もくじ 目次

エバラ食品工業株式会社	2
-------------	---

段ボールサイズ見直しによる輸送効率の向上

岡山建設株式会社	4
----------	---

脱炭素に向けてエコキャップ活動へ取り組み

株式会社崎陽軒	5
---------	---

「食材ロスの削減」と「再生可能エネルギー電力」で“脱炭素”に取り組めます。

有限会社クリオシティ	7
------------	---

「街の配送を車から自転車に置き換えよう！」カーゴバイクが脱炭素社会のヒーローになる。

株式会社紅梅組	10
---------	----

工事現場でのちょっとしたSDGSの取り組み

東京ガス横浜中央エネルギー株式会社	12
-------------------	----

おうちのお湯をつくる「給湯器」のリサイクル

株式会社ノジマ	15
---------	----

地球や環境に優しくノジマの「デジタル一番星」な取り組み

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル	18
---------------------------	----

ホテルの営業で生じる炭素を削減

横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ	21
--------------------	----

食品リサイクルループ「ヤサイクル」の取り組み

株式会社ロマック	24
----------	----

循環型社会へ向けた活動に貢献

段ボールサイズ見直しによる輸送効率の向上

もっとたくさんの商品を一度に運びたい

トラックなどの輸送時には商品をパレットと呼ばれる荷台に積んで運ぶのですが、段ボールを高く積んでも箱がつぶれないようにするため、エバラ

食品の「横濱舶来亭カレーフレーク」では

箱の内部に補強のための仕切りを入れていま

した。この段ボールの

作りを見直すことでお金や資源を節約できないか、そしてもっと

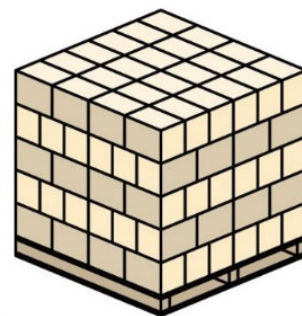
たくさんの商品を一度に運べるようにできな

いかと考えました。



「横濱舶来亭カレーフレーク」と変更前の段ボール

【変更前】パレットに積んだ段ボール(120箱)



変更前

$$24\text{箱} \times 5\text{段} = 120\text{箱}$$

段ボールを工夫することでCO2排出量削減に！

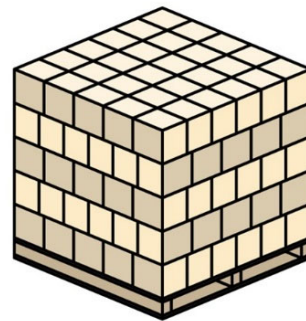
エバラ食品では、この段ボールサイズの幅を40mm小さく、奥行きを8mm大きくするとともに、スーパーなどの売り場で箱のままでも並べやすいデザインへ変更しました。また、段ボールを強い素材へと変更することで、内部に入っていた仕切りを無くすことができました。

これによりパレットに積むことができるケース数が120箱から150箱へと大きくアップ！輸送効率を上げることでCO2排出量を減らし、かかるお金もおさえることができました。



「横濱舶来亭カレーフレーク」と変更後の段ボール

【変更後】パレットに積んだ段ボール(150箱)



変更後

30箱 × 5段 = 150箱

だつたんそ む かつどう と く
脱炭素に向けてエコキャップ活動へ取り組み

みちか
身近なことからチャレンジしてみよう！

SDGsって何すればいいの？ そこから始まった取り組みで、
おかやまけんせつ しゃいん みちか だれ
岡山建設の社員は身近なSDGsチャレンジとして、誰でもできる
ペットボトルのキャップリサイクルに取り組んでいます。ペッ
トボトルのキャップ 400個 (1 kg) を焼却した場合3,150 g
のCO₂が発生するそうで、リサイクルすればCO₂の削減、脱炭素
につながります。食事や休憩時間はペットボトル飲料を飲む
きかい おお ひとり あつ しゃいんぜんいん
機会も多く、1人ではなかなか集まらなくても、社員全員でやる
とたくさん集まります。



エコキャップ収集ボックスと集めたエコキャップ

「^{しょくざい}食材^{さくげん}ロス^{さいせいかのう}の削減^{でんりよく}」と「再生可能エネルギー電力」
で「^{だつたんそ}脱炭素^{とく}」に取り組みます。

^{よこはまし}横浜市^{きょうけん}×崎陽軒「^{もったいない}もったいない」を見直そう弁当³

^{きょうけん}崎陽軒では生産工程で発生する^{しょくざい}食材^{さくげん}のロス削減に日々取り組ん
でおりますが、どうしても規格外のサイズや、^{かたち}形^{しょくざい}などの食材や
^{きかんげんていせいひん}期間限定製品で^{しょう}使用しきれなかった^{しょくざい}食材がロスにつながってい
ました。そうした^{しょくざい}食材^{しょう}を使用した『^{よこはまし}横浜市×^{きょうけん}崎陽軒「^{もったいない}もったいない」
を見直そう弁当³』を2024年2月に発売いたしました。

^{あら}新たに「^よ世^{なか}の中^めのもったいな
い」にも目を向け、^{しょうりょう}少量しか
^と取れないため市場に^{しょう}流通しな
かった「^{かながわけんさんたち}神奈川県産^{うお}太刀魚^ののハラ
ス」を仕入れ、使用いたしまし
た。さらに、^{しょう}容器^{はし}や箸などの
^{ほうざい}包材も「^{だつ}脱プラスチック」を
^{いしき}意識しました。



100%再生可能エネルギー電力を導入

横浜工場に併設する「港北インター店」では、2021年8月30日より100%再生可能エネルギー電力を導入しました。

また、2022年10月より、切り替えが可能なロードサイド店舗15店舗にて、順次電力の切り替えを実施しました。

100%再生可能エネルギー電力を活用することでCO2の排出削減に努めています。



まち はいそう くるま じてんしゃ お か
「街の配送を 車 から自転車に置き換えよう！」

だつたんそしゃかい
カーゴバイクが脱炭素社会のヒーローになる。

だつたんそしゃかい しゅやく にもつ はこ じてんしゃ
脱炭素社会の主演に。荷物を運ぶための自転車・カー
ゴバイクとは？

にしく と ベ ね ねん ゆうげんがいしゃ
西区戸部に根ざして 20年、有限会社クリオシティは、サイクル
メッセンジャーと呼ばれる自転車便事業を主軸に脱炭素社会の
じつげん む と く
実現に向けて取り組んできました。



▲2023 年 9 月に横浜で開催されたメッセンジャーの世界大会（CMWC）でも
カーゴバイクレースが行われ、日頃からカーゴバイクで配送している選手たちが
世界中から集まり、様々なタイプのカーゴバイクでその技術を競い合いました。

さて、聞きなれないカーゴバイクという言葉、実は10年以上前からクリオシティはカーゴバイクを配送用の自転車として活用してきました。

たくさんの荷物を積めるカーゴバイクは、ガソリンや電力を必要とする自動車の役割から置き換えることができ、世界の各都市、特にヨーロッパを中心にその取り組みが進められています。



▲カーゴバイクの形は様々ですが、こちらのタイプでは70kg以上の荷物を載せてもスムーズに運転走行が可能です。

よこはまとしんぶ じてんしゃはいそうりようとつく だつたんそ
横浜都心部を自転車配送利用特区にすることで脱炭素
のまちづくりがすすむ？



げんざい にしくない よこはまえきしゅうへん
現在、クリオシティは西区内のみなとみらい・横浜駅周辺から
なか かんない やましたちょう まいにち かどう
中区の関内・山下町エリアまで毎日カーゴバイクで稼働し、ト
ラックやバンに代わって効率的で効果的な脱炭素の配送を実現し
ています。

たてもの みっしゅう くるま じゅうぶん
このエリアは建物が密集しているため、車でなくても十分
じてんしゃ はいそう だつたんそすいしんとし
自転車で配送できます。また、ヨーロッパの脱炭素推進都市で
は、街の中心部に自動車侵入制限を設けて、トラック配送から
かつよう はいそう きりかえ すす
カーゴバイクを活用した配送へどんどん切替を進めています。

かつどう よこはま にほん かくとし ひろ おの
こういった活動が横浜から日本の各都市へ広がれば、自ずと
だつたんそ きこうき き かいけつ つな
脱炭素・気候危機をサステナブルに解決するまちづくりへと繋が
っていくことでしょう。

工事現場でのちょっとした SDGS の取り組み

ルールを守ってしっかり分別、きっちり廃棄

当社は昨年より平沼小学校の増築工事に携わっており、鉄筋コンクリート構造4階建て、普通教室増設、放課後キッズクラブの設置が工事内容となります。建設現場では工事に使用した材料の端材等が産業廃棄物（ごみ）として排出されます。以前は混合廃棄物として処理をしてきましたが、1991年の産業廃棄物処理法改正により、産業廃棄物の排出抑制と分別、再生（再資源化）を目的としてリサイクル法が制定されました。



▲ごみ種別ごとに縦 1m×横 1m×高さ 1mのスチールフレームにフレキシブルコンテナバック（通称：フレコンバック、トンパック）を設置。

※水容量：1 m³=1 t

みなさんの家庭でも分別ごみを実施しているように、建設現場でも資源のリサイクルを目的により細かく分別しています。写真では躯体工事の為5種類（コンクリートガラ、金属くず、木くず、廃プラスチック類、混合廃棄物）のカゴが設置されていますが、仕上工事に進むと石膏ボード等のカゴが増設されます。

～捨てればごみ、分ければ資源～

工事現場できちんと分別することで、ごみの量を減らすことができ、処分のためのエネルギーや燃料消費量の削減につながり、結果温室効果ガスや有毒物質の発生量を削減することになります。

当社は現場のごみ分別により、限りある資源のリサイクルにつなげ、SDGs目標に掲げている「つくる責任、つかう責任」で、生産者も消費者も資源の無駄使いをなくし、持続可能な消費と生産に取り組んでいきます。



▲現場の状況（敷地の広さ、工事進捗）に合わせてごみ種別の選定。
また、誰にでも分かり易く写真や絵で表示しています。

おうちのお湯をつくる「給湯器」のリサイクル

「給湯器」って？

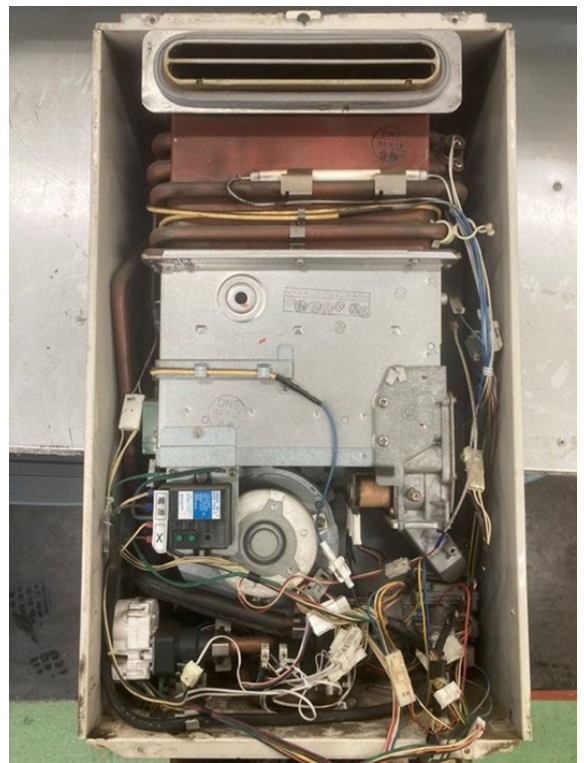
生活の中で毎日使っているお湯。洗面所やシャワー、お風呂のお湯は蛇口をひねったりボタンを押すだけで簡単に出来てきますが、じつは「給湯器」という機械で水道のお水を温めてお湯を作っています。東京ガス横浜中央エネルギーではこの給湯器を販売し、おうちの古く使えなくなった給湯器を、新しい給湯器に交換しています。



▲おうちのお湯をつくる機器「給湯器（きゅうとうき）」

つか 使えなくなった古い給湯器の中身をリサイクル

きゅうとうき あ なか
給湯器を開けてみると、中にはお
ゆをつくるためのたくさんの部品
はい しょう
が入っています。使用できなくな
った古い給湯器を人の手で解体
し、中にある部品を鉄や銅といっ
きんぞく しげん ぶんべつ
た金属などの資源ごとに分別して
います。てさぎょう かいたい
手作業で解体することによ
り、きかい しかい しげん
機械でくたくよりも資源を
ムダなく活用することができま
す。



▲給湯器の中身。鉄や銅などの金属が使われています。

ねんかん かいたい きゅうとうき やく
1年間で解体した給湯器は約6,000
だい わ しげん りょう やく
台で、分けられる資源の量は約
180 とん きゅうとうき ぶひん
tにのぼります。給湯器の部品
つか きんぞく
として使っていた金属などはごみ
としてす あた
捨てることなく、新しい
せいひん つく しげん う か
製品を作るための資源に生まれ変
わります。



▲給湯器の中身を
手作業で解体する様子。

きゅうとうき
給湯器のリサイクルは、かぎりある資源の再利用、ごみを減らす
ことにつながっています。これからもきゅうとうき
給湯器のリサイクルやその
ほかのSDGsを進める活動に取り組むことで、住みつづけられる
しゃかい じつげん こうけん
社会の実現に貢献します。



▲解体した給湯器の中身を資源ごとに分別し、
新しい製品をつくるためにリサイクルされます。

ちきゅう かんきょう やさ
地球や環境に優しく ノジマの「デジタル一番星」な
とく
取り組み

にほんいち はいふすう
日本一のエコバッグ配布数でプラスチックごみを減ら
しています

いま かいけい ゆうりょう
今や、お会計するときに「有料のレジ
ぶくろ りょう てんいん き
袋はご利用ですか？」と店員さんに聞
かれることがほとんどになりました。

ねん がつ はじ ぶくろ ゆうりょうか
2020年7月から始まったレジ袋の有料化
はいきぶつ うみ す かいよう
は廃棄物、海に捨てられている海洋プラ
スチックごみ、ちきゅうおんだんか かんきょう
地球温暖化などの環境

もんだいかいけつ だいいっぽ
問題解決の第一歩として、「プラスチッ
クを沢山使うことをやめましょう」とい
りゆう はじ
う理由で始まりました。ノジマではその

こえ まえ ねん きやくさま ぶくろ へ
声があがる前、2019年10月からお客様にレジ袋を減らすよ
う、エコバックをプレゼントしています。(※お店で会員登録を
みせ かいいんとうろく
するとプレゼント)また、レジ袋は環境にやさしいバイオマス
はいごう ぶくろ つか つうじょう えん ぜいこみ ぶくろ
配合のレジ袋を使っており、通常3円(税込)のレジ袋をノジマ
かいいんさま むりょう はいふ
の会員様であれば無料で配布しています。



▲配布している
ノジマオリジナル
エコバック

家電専門店ができること、環境問題解決への取り組み

皆さんは家の近く、周辺の駅で「nojima」という看板を見たことがありますか？「nojima」は1959年に創設した家電専門店で、皆さんが家で使っている冷蔵庫や洗濯機、ドライヤーなどたくさんの家電商品売っています。たくさん売られている家電を買うときに、お客様は「どれを買えばいいんだろう…」と、商品選びに迷ってしまいます。そのようなときに、ノジマの店員さんがお客様に“どのようにその商品を使いたいか”や、求めている機能を聞き、そのうえでいちばんぴったりの商品をおすすめしています。ノジマではこのようなお客様のお困りごとを解決する販売方法を「コンサルティングセールス」と呼んでいます。さらに販売だけでなく、地域のお客様に貢献する「デジタル一番星」の会社として、“SDGs”という言葉が生まれるずっと前から環境問題を解決するためにさまざまな取り組みを行ってきました。

1984年から、ノジマのお店を出している地域へ省エネ家電を寄付し続けています。今年で39回目を迎え、



▲寄付で神奈川県から感謝状をいただきました。(2023年度) 左)ノジマ取締役兼代表執行役社長 野島廣司 右)黒岩神奈川県知事

さくねん ねん ちい き やく おく せんまんえん しょう かでん
昨年の 2023年には 127 の地域に、約2億1千万円の 省 エネ家電を
き ふ さいがい とき ちい き かた つか
寄付し、大きな災害があった時などに地域の方に使っていた
ております。

しゃかい こうけん けいえい きぎょうりねん かか
「社会に貢献する経営」を企業理念に掲げるノジマでは、これか
かんきょう か けい やさ と ぐ おこな きやくさま よろこ
らも環境にも家計にも優しい取り組みを行い、お客様に喜ば
れてまいります。

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

ホテルの^{えいぎょう}営業で^{しょう}生じる^{たんそ}炭素を^{さくげん}削減

^{おおがた}大型ホテルだからこそできる^{だつたんそ}脱炭素への^{とく}取り組み

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルは、ヨットの^ほ帆の^{かたち}形で^し知られる、みなとみらい^{ちく}地区で^{さいしょ}最初に^{たんじょう}誕生したホテルです。^{きやくしつ}客室は594室あり、^{しゅくはく}宿泊される^{きやくさまいがい}お客様以外にもレストランを^{りょう}ご利用の方、ウェディングや^{えんかい}宴会で^こお越しの^{きやくさま}お客様のほか、ホテルで^{はたら}働いている^{かずおお}スタッフも数多くおります。

^{わたし}私たちは、このような^{おおがた}大型ホテルだからこそ^{だつたんそ}脱炭素への^{とく}取り組みが^{ひつよう}必要と^{かんが}考え、^{かずおお}数多く^{じっこう}実行しています。そのひとつが、「^{つか}使い^す捨てアメニティの^{はいし}廃止と^{しき}ポンプ式ボトルの^{どうにゅう}導入」です。



▲594 室の客室と
8つのレストランがある大型ホテル

ちきゅう 地球のために、ひびで 日々出るごみのりょう 量を減らしています

きゃくしつ 客室のバスルームのシャンプーやボディソープを、きゃくさま お客様ごとにつかす 使い捨てになるこほうそう 個包装からそな 備え付けのポンプ式しき ボトルにすることで、ひびす 日々捨てられるごみのりょう 量を削げん 減しています。また、どうしても個別で必要となるひつよう 歯ブラシなどについては、かんきょう 環境にはいりよ 配慮したそざい 素材やこほうそう 包装をしょう 使用したものをせっち 設置しています。



▲各客室に設置した
ポンプ式ボトル

きゃくしつ 客室のリネンるい 類（ベッドシートやタオルなど）も、はくいじょうたいざい 2泊以上滞在されるおきゃくさま 客様にこうかん こうかん 交換する/しないをえら 選ぶいただき、せんたくかいすう 洗濯回数をすく 少なくすることで、しょう 使用するすいりょう 水量のさくげん 削減やせつでん 節電をじつげん 実現しています。

かみ 紙やエネルギーしげん 資源のせつやく 節約にもとく 取り組んでいます

レストランでは、ちようきよりゆ そう 長距離輸送によるCO2はいしゅつ 排出のさくげん 削減にもつながるじもとさんしよくざい 地元産食材のしょう 使用（ちさんちしょう 地産地消）や、しょうず 使用済みしよくようあぶら 食用油のかんぜん 完全リサイクルのほか、ほぼすべてのプラスチックストローのはいし 廃止もおこな 行っています。

またホテル内では、以前は紙を使用していた館内案内のパンフレットやポスターなどを可能な限りデジタル化し、ペーパーレスを推進。

宴会場では照明をLEDに替えたり、館内の使用電力やガス、水量を「見える化」してスタッフ全員で使い過ぎ防止に努めるなど、紙やエネルギー資源の節約にも取り組んでいます。

私たちは、ホテルのお客様へのおもてなしの心はそのままに「目の前の、できることから」をモットーにして脱炭素のために日々活動を行っています。



▲宴会を華やかに演出する照明を省エネ効果の高いLEDに切り替え

食品資源を再生利用「ヤサイクル」とは？

横浜ベイシェラトン ホテル

&タワーズは、横浜駅西口

目の前にあり、日本国内に

限らず、世界中からお客

様がお越しになります。ホ

テル内には8つのレスト

ランやバーがあり、



▲1998年に開業。西口を見守ります。

地産地消を考えた地元食材を積極的に使用したり、プラスティ

ック製ストローの廃止やエコバッグご利用を推奨するなど、

環境に配慮した取り組みを推進しています。

そんな私たちが2008年に始めた食品リサイクルのシステムが

「ヤサイクル」です。ホテルのレストランや宴会場から出る生

ごみを専用の機械で肥料に変換し、その肥料を神奈川県内の契約農

家さんへ届けます。その農家さんで栽培・収穫されたトマト、

キャベツ、大根などの野菜をまたホテルのレストランで使用しま

「ヤサイクル」の取り組みによるCO2削減効果

水分を多く含む生ごみは焼却するのに燃料が多く必要です

が、専用の機械で肥料にすることで、二酸化炭素の排出を少なくすることができます。また、神奈川県内の農家さんと「ヤサイクル」の契約を結ぶことで、食材を運ぶためにかかるエネルギーや二酸化炭素の排出も削減しています。



▲ホテル内にある生ごみを肥料に変換する処理機

「ヤサイクル」によって栽培、収穫された野菜は主にホテルの2階にあるオールデイベッフェ「コンパス」で使用していますので、ぜひ食べに来てくださいね。



▲契約農家さんで大根を収穫するホテルのシェフ達

横浜ベイシェラトンホテルは、これからも地域の皆様から愛され続けるホテルを目指し、SDGsへの取り組みを積極的に進めてまいります。



▲「ヤサイクル」によって収穫された野菜

はいしゅつりょう すく もくせいけいじばん せっきよくてき すいしょう
CO2排出量が少ない木製掲示板を積極的に推奨



CO2 排出を抑える
木製掲示板

おお もんだい ちきゅう おんだんか かんぱつざい
大きな問題となっている地球の温暖化について、間伐材などを
かつよう しょうひん きやくさま はんばい じゅんかんがたしゃかい む
活用した商品をお客様に販売していくことで循環型社会へ向
けた活動に貢献しています。間伐材とは、森林整備を行うとき
に切られた木材のことです。間伐材を山に放置すると土砂災害が
はっせい もくざい かんぱつざい やま ほうち どしやさいがい
発生したときに一緒に流れてしまい、被害が増えてしまう可能性
もあります。そんな間伐材を使用した製品をご購入いただくと、さらに『植林ポイント』が付与される仕組みとなっております。

り、^{かんせつてき}間接的ではありますが、^{しょくりん}植林という^{かたち}形でも^{かんきょう}環境に^{こうけん}貢献しています。

^{こうじようひん}工事用品は^{けっこう}結構^{じゅうでんしき}ソーラー充電式なんです



いま^ああたり^{まえ}前に^{しょう}使用されていた^{かんでんしき}乾電池式の^{せいひん}製品から、ソーラー^{じゅうでんしき}充電式の^{せいひん}製品へと^き切り^が替えが^{すす}進んでいます。ソーラー電池は^{かんでんち}乾電池と^{こと}異なり、^{ひんぱん}頻繁な^{でんちこうかん}電池交換が^{ふよう}不要で、^{かんきょう}環境に^{やさ}優しく、さらに^{ひよう}費用も^{さくげん}削減できます。みなさんがよく^{どうろ}道路や^{こうじげんば}工事現場で見かける^{せいひん}製品も、ソーラー式^{しき}のものかもしれません。また^{おこな}ロマックでは^{しきせいひん}ソーラー式製品の^{なんど}レンタルも^{おな}行っています。何度も^{せいひん}同じ製品を^{こわ}それこそ^{がえ}壊れるまで^{つか}くり返し^{しげん}使っていただくことで、^{むだ}資源の^{はいき}無駄や^{すく}廃棄が少なくなるようにしています。